

日本史授業プリント近代18(090) 初期議会と政府

2年 組 番 _____.

☆ 1衆議院議員選挙法(1889. 憲法と同時に公布)

制限選挙…選挙権は、2 直接国税15円以上・25歳以上・男子 (被選挙権は30歳以上)

→約45万人 (全人口の3 約1.1%) ※大部分は地主

→第1回総選挙[4 1890]

選挙結果	{ 6 <u>立憲自由党</u> (130) 7 <u>立憲改進黨</u> (41) …反政府(8 <u>民党</u>) 過半数 (300) { 大成会(79)、国民自由党(5) …政府側(9 <u>吏党</u>)

☆政府(藩閥内閣)の方針

① 10 超然主義 …政府(内閣)は議会(政党)に拘束されないという考え方

<例> 11 黒田首相の超然主義演説 (↓) 12 伊藤博文(枢密院議長)も同意見を表明

…所謂政党ナル者ノ社会ニ存立スルハ亦情勢ノ免レサル所ナリ。然レトモ政府ハ常ニ一定ノ方向ヲ 取り、 <u>超然</u> トシテ政党ノ外ニ立チ、至公至正ノ道ニ居ラサル可ラス。(『明治政史』)
--

②軍備拡張路線 1878. 軍人訓戒←竹橋事件(西南戦争後の待遇への不満から近衛隊が反乱)

1882. 13 軍人勅諭…西周が起草 天皇への絶対服従・政治への不関与を説く

1888. 陸軍の再編…鎮台制から14 師団 制(対外戦も可能)へ

1889. 15 徴兵令の改正…兵役免除・徴兵猶予を廃止

→「16 民力休養 ・ 17 政費節減」を主張する議会(民党)と対立

…地租軽減・地価修正	…人員整理・軍縮など
------------	------------

初期議会と内閣の対決

③
18 山県有朋(I) 内閣 1889.12~91.5. 長州閥

☆¹⁹ 第一議会 (第1回帝国議会 20 1890.11~91.3)

首相演説…「²¹ 主権線」(国境)だけでなく「²² 利益線」(朝鮮)も守るべき→軍備拡張の必要性
議会は政府予算案を拒否→混乱→自由党一部(土佐派)の離反→修正予算成立
中江兆民、抗議の辞職(議会は「腰抜け」「無血虫の陳列場」)

④
23 松方正義(I) 内閣 1891.5~92.7. 薩摩閥 ☆外相 ²⁴ 青木周蔵

☆²⁵ 第二議会 (1891.11~12) …政府の軍艦建造費などの大幅削減要求を否決

海軍大臣²⁶の²⁷ 蛭勇演説…薩長藩閥の功績を主張 →議会紛糾

現政府ハ此ノ如ク内外国家多難ノ艱難ヲ切抜ケテ、今日迄来タ政府デアル。薩長政府トカ何政府トカ
言ッテモ、今日国ノ此安寧ヲ保チ、四千万ノ生靈ニ関係セズ、安全ヲ保ッタト云フコトハ、誰ノ功力デア
ル。(笑声起ル) 御笑ニ成ル様ノ事デハゴザイマスマイ。

→政府は衆議院を解散→総選挙(第2回 1892) …²⁸ 選挙大干渉 (死者25人重傷者400人)

→それでも民党優勢(163/300)の結果

…内相(内務大臣) ²⁹ 品川弥二郎

☆³⁰ 第三議会 (1892.5~6) 選挙干渉の責任追及などで紛糾 軍拡予算を再度否決 内閣総辞職

⑤
31 伊藤博文(II) 内閣 1892.8~96.8. 長州閥 ☆外相 ³² 陸奥宗光

「³³ 元勳内閣」…山県(陸軍)、井上馨(内務)、黒田(通信)、後藤(農商務)らの内閣

☆³⁴ 第四議会 (1892.11~93.2) …政府の軍事費増額に対して予算の削減を議決

→(a) ³⁵ 建艦詔勅 (和衷協同の詔書)…天皇が政府と議会の妥協を求める

(b) ³⁶ 伊藤は自由党と接近 (超然主義の修正) →自由党、政府に協力 →予算成立

→改進黨、国民協会・大日本協会(史党)ら6派が反発

政府の条約改正交渉への批判で同調して連合(³⁷ 対外硬派連合)を形成 ※国民意識をあおる

☆³⁸ 第五議会 (1893) 対外硬派、自由党・内閣を攻撃 →政府、議会を解散(12/30) →総選挙(1894/3)

³⁹ 第六議会 (1894/5) 対外硬派と自由党が協調 →政府弾劾上奏案可決 →解散(6/2)

※7/16日英通商航海条約調印 7/25日清戦争開戦 9/1総選挙

⁴⁰ 第七議会 (1894/10/18) 大本営(軍の本部)が置かれた広島で開催

全政党が政府批判を中止、軍事費などを討論なし全会一致で可決

【正誤問題に挑戦】 <1994本試験、1991年本試験より>

- (1) 我が国最初の総選挙では、選挙人は、直接国税15円以上を納入する25歳以上の男子であった。
- (2) 開設された議会では、民力休養を主張する民党勢力と政府が対立し、第二議会の議会解散後の選挙では、政府による大干渉が行われた。